

西国第二十二番 補陀洛山

御本尊／千手観世音菩薩 開基／中納言藤原山蔭

高野山真言宗 総持寺

ようこそ

御参拝くださいました。

山主 中西隆英

コロナ禍の時代において、仕事や学校、買い物までも人と人との対面では無く、コンピューターの画面越しで行われるようになりました。日常生活の中で、人との関わり方がこれまでと大きく変わってきています。

は、音信、飲食、旅行、物品の贈答などをするのですが、表面に現われてくるものですが、それが形式だけのものだったり、申し訳にする義理一片のものであったりするならば、虚礼となって甚だ味気ないものです。本当の交際は真心と真心との交換でなくてはなりません。それについては仏教では「無財の七施」ということを教えています。

1. 眼施 いつも人に対して優しい目を向ける
2. 顔施 いつもにこやかな笑顔で人に接する
3. 言施 誰にでも親切な言葉をかける
4. 身施 人の手助けをしてあげる
5. 心施 相手の人に対して愛情を持つ
6. 座施 座席を譲ってあげる
7. 舎施 来訪者を気持ちよく迎える

は当然のことですが、自らの利益のためにするのではなく、多くの人の幸せのためというのが、仏の教えの基本です。

現在の私たち自身が、かつて、多くの先人たちが植えつづけた、徳本の実りを受けて、生かされているわけですから、その連綿とした「いのち」の聖業に、私たちも参加して、徳本を植えつづけていきたいものです。

